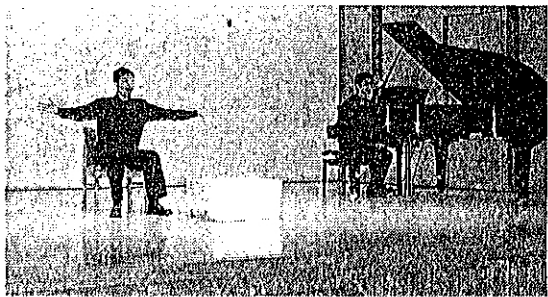


心癒やし賢治世界で

立命館大 臨床教育の公開企画



独特のリズムの朗読で宮澤賢治の作品世界を表現する川手さん（京都市北区・立命館大）

立命館大人間科学研究所（京都市北区）は二十九日、宮澤賢治の詩や物語の朗読、ピアノ演奏で、発達障害や引きこもりの人たちの臨床教育を試みる公開企画「宮澤賢治の世界」を開いた。

同研究所は文部科学省の学術フロンティア推進事業として二〇〇〇年から、心理学や社会学、教育学の専門家が連携し、障害者や高齢者の生活の質を向上させる方法の開

発に取り組んでいる。

今回は芸術を用いた手法を実演する狙い。一般の子どもたちや学生ら約八十人を前に、東京などで芸術による治療教育に取り組む演出家の川手鷹彦さんの演出した舞台が披露された。

ピアノが奏でられるなか、川手さんは一人芝居を交えながら、宮澤賢治の「猫の事務所」と「春の修羅」を独特のリズムで朗読し、来場者を賢治

の世界に引き込んだ。